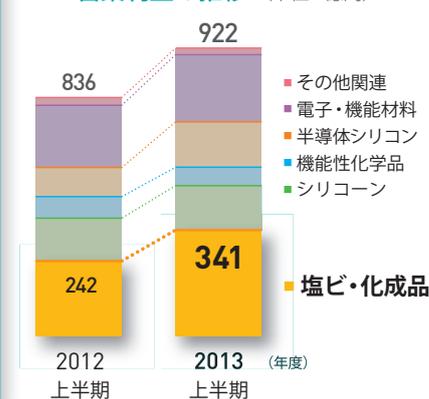


◆ シンエツのハイライト

<p>売上高</p> <p>5,722億円</p> <p>+6.6% 前上半期比 352億円増</p>	<p>営業利益</p> <p>922億円</p> <p>+10.3% 前上半期比 86億円増</p>
<p>経常利益</p> <p>973億円</p> <p>+13.2% 前上半期比 113億円増</p>	<p>純利益</p> <p>638億円</p> <p>+14.6% 前上半期比 81億円増</p>
<p>自己資本比率</p> <p>81.5%</p> <p>純資産1兆7,411億円 総資産2兆773億円 (ご参考：自己資本1兆6,928億円)</p>	<p>海外売上高比率</p> <p>72%</p> <p>年間配当金</p> <p>1株当たり 年間 100円 を予定</p>

当上半期の注目ポイント

営業利益の推移 (単位：億円)



グループ利益成長に貢献する
塩ビ・化成品事業

当上半期におけるセグメントごとの営業利益では、塩ビ・化成品事業が米国子会社のシンテック社の大幅な増益により、大きく利益を増やしました。その結果、全体の利益に占めるこのセグメントの割合は37%となり、グループ全体の利益を大きくけん引しています。

しんえつニュースクリップ

シンテック社が塩ビ樹脂原料からの生産能力を拡大へ

世界最大の塩ビ樹脂メーカーである米国子会社のシンテック社は、ルイジアナ州にある塩ビ樹脂原料からの一貫生産工場の増強を決定しました。増強する生産能力は塩ビモノマー約30万トン/年、か性ソーダ約20万トン/年、塩ビ樹脂約30万トン/年で、増強後のシンテック社全体の塩ビ樹脂生産能力は295万トン/年となります。この増強にかかる投資額は5億ドル(約500億円)を見込み、2015年ごろの完成を目指しています。

信越グループの塩ビ樹脂生産能力
(万トン/年)

● シンテック (米国)	263
● 鹿島工場 (日本)	55
● シンエツPVC (オランダ)	45
● シレス (ポルトガル)	20
合計	383
● シンテック (増設計画分)	32
シンテック増設後の合計	415

販売力をさらに強化し、 迅速な対応と積極投資により、 一層の成長を期してまいります。

株主の皆さまにおかれましては、
平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当上半期の概況

当上半期（2013年4月1日～9月30日）の世界経済は、米国では緩やかな回復が続きましたものの、アジア地域では伸び悩みの傾向が見られ、また、欧州では財政問題の影響もあり停滞が続きました。日本経済は、アジアや欧州向けの輸出が振るわなかったものの、米国向け輸出の伸びや個人消費に持ち直しの動きが見られるなど、回復基調をたどりました。

このような状況のもとで、当社グループは、「販売先行」「積極投資」「迅速な仕事」により競争力をさらに高めることを本年度の経営目標とし、世界の幅広い顧客に向け販売を積極的に進めるとともに、技術や品質の向上と新規製品の開発にも鋭意取り組みました。また、生産能力の増強、製造拠点の複数化、原材料の安定確保などにより一層堅固な事業基盤の構築に力を注いでまいりました。

この結果、当上半期の業績は、連結売上高5,721億8千4百万円（対前年同期比6.6%増）、連結営業利益922億2千4百万円（同10.3%増）、連結経常利益973億3千2百万円（同13.2%増）、連結純利益638億2千万円（同14.6%増）となり、増収増益を達成しました。

当社は長期的な観点に立って事業収益の拡大と企業体質の強化に努め、その成果を株主の皆さまに還元するという基本方針に基づき、当上半期の配当金を1株当たり50円とさせていただきます。

主要事業の動向

塩ビ・化成事業では、世界最大の塩ビ樹脂メーカーである米国のシンテック社が、米国内に加え中南米などをはじめとした新興国での社会基盤の整備のための需要を着実に捉えながら世界中の顧客に積極的な販売を展開しました。この結果、利益を大幅に伸ばし、当上半期も当社グループの業績に大きく寄与しました。またオランダのシンエツPVC社も順調に推移しました。

半導体シリコン事業では、上半期前半は緩やかな回復基調が続きましたが、上半期後半はこれまで拡大を続けてきたスマートフォンの需要減速に伴う半導体デバイスメーカーの生産調整や在庫調整による影響を受けました。

シリコン事業は、国内では自動車向けが堅調に推移しましたが、電子機器向けが総じて振るいませんでした。一方、海外では欧米向けの機能製品に加え、中国向けの汎用品の出荷が増加しました。

電子・機能材料事業では、ハイブリッド車など自動車向けの希土類磁石が堅調に推移し、フォトレジスト製品、LED用パッケージ材料もそれぞれ順調に推移しました。また、光ファイバー用ブリフォームは、需要が底堅く推移し好調な出荷が続きました。



代表取締役会長



代表取締役社長

金川千尋 森俊三

事業基盤のさらなる強化

当社グループは、国際的な競争力の強化につながる原料の安定確保への投資や、成長が見込まれる分野への投資を進めています。

シンテック社は新興国をはじめとした世界的な塩ビ樹脂の需要拡大への対応を強化するため、本年6月にルイジアナ州に同社が有する塩ビ樹脂の原料からの一貫生産工場の増強を決定しました。塩ビ樹脂とその原料の生産能力をそれぞれ増強し、完成後は同社塩ビ樹脂の現在の能力から約1割増の年間295万トンになる計画です。シンテック社は世界最大の塩ビ樹脂メーカーとしての地歩をさらに固め、持続的な事業の発展に努めてまいります。

またシリコン事業においては、本年5月にアジア シリコンズ モノマー社（タイ）を完全子会社化しました。同社は2001年にGE（General Electric Company）グループとの折半出資により設立したシリコンの原料製造会社で、今回の完全子会社化により、同じくタイに本社を置きシリコンの加工を行うシンエツ シリコンズ タイランド社と一体化して事業運営の効率化を図り、アジア地域でのシリコン事業のさらなる拡大を目指してまいります。

安全確保の最優先と公正な経営

当社グループは、安全の最優先を経営目標として掲げ、事業活動を進めています。また、遵法に徹し公正な企業活動を行うことを企業理念として、内部統制システムの厳格な運用とともに、社外取締役および社外監査役が独立した立場で経営の監督を行うなど、経営の健全性と透明性の確保に努めています。

当社グループは、これからも収益力の拡大と社会から信頼される企業活動を通じて企業価値の最大化を追求し、皆さまのご期待にお応えしてまいります。株主の皆さまには、なお一層のご理解とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

2013年11月

代表取締役会長 金川千尋

代表取締役社長 森 俊三

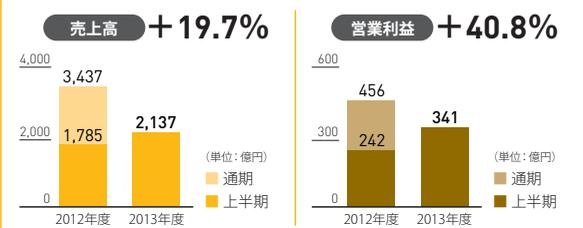
事業概況

塩ビ・化成品

売上高比率  **37.3%**

- ◆ 米国シンテック社は、世界中の顧客への拡販で高水準の出荷を続け、業績を大きく伸ばしました。
- ◆ オランダのシンエツPVC社も堅調に推移しました。
- ◆ 国内塩ビは、需要の回復が見られましたが、原料価格上昇の影響もあり、厳しい状況が続きました。

主要製品：塩化ビニル樹脂、か性ソーダ、メタノール、クロロメタン

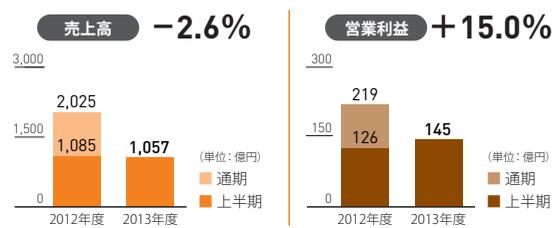


半導体シリコン

売上高比率  **18.5%**

- ◆ 上半期の前半は緩やかな回復基調が続きましたが、上半期の後半以降は、スマートフォンの需要減速により半導体デバイスメーカーが生産調整や在庫調整を行った影響を受けました。

主要製品：半導体シリコン

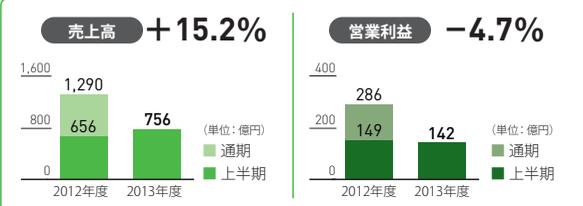


シリコーン

売上高比率  **13.2%**

- ◆ 国内は自動車向けが堅調に推移しましたが、電子機器向けは総じて低調でした。
- ◆ 海外は欧米向けの機能製品に加え、中国向けの汎用品の出荷が伸びました。

主要製品：シリコーン

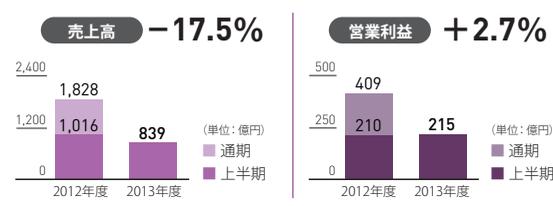


電子・機能材料

売上高比率  **14.7%**

- ◆ 希土類磁石は、自動車向けは堅調だったものの、省エネルギータイプエアコン向けの出荷は振るいませんでした。
- ◆ フォトレジストは、半導体デバイスの微細化の進展もあり順調に推移しました。
- ◆ LED用パッケージ材料の出荷も堅調でした。
- ◆ 光ファイバー用プリフォームの需要は堅調で好調な出荷を続けました。

主要製品：希土類磁石（電子産業用・一般用）、半導体用封止材、LED用パッケージ材料、フォトレジスト、マスクブランクス、合成石英製品、液状フッ素エラストマー、ペリクル

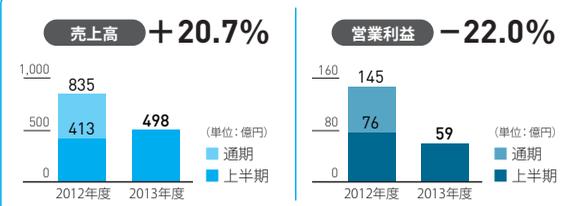


機能性化学品

売上高比率  **8.7%**

- ◆ 国内セルロース誘導体は、建材用や医薬用製品を中心に堅調に推移しました。
- ◆ ドイツのSEタイロース社は、価格競争の激化が響き厳しい状況が続きました。
- ◆ 豪州のシムコア社の金属珪素は、市況低迷の影響を受けました。

主要製品：セルロース誘導体、金属珪素、ポパール、合成性フェロモン

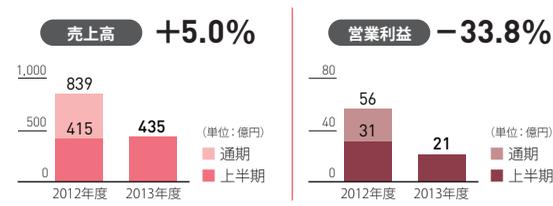


その他関連

売上高比率  **7.6%**

- ◆ 信越ポリマー社の自動車用キーパッドは順調に推移し、半導体ウエハー関連容器の出荷も回復の動きが見られました。
- ◆ エンジニアリング事業は低調でした。

主要製品：樹脂加工製品、技術・プラント輸出、商品の輸出入、エンジニアリング



素材のチカラ ～「シリコン」編～

信越グループの製品は、私たちの身の回りの生活用品から最先端技術を要する産業に至るまで、姿や形を変え、幅広い分野で使われています。今回の特集では、その構造からさまざまな特長を兼ね備え、配合技術などでより高度な機能を持った素材へと生まれ変わることができるシリコンをご紹介します。

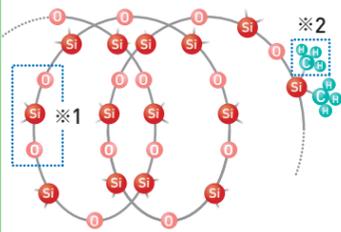
「シリコン」とは？

Silicon or Silicone?

シリコンとシリコーンの違い

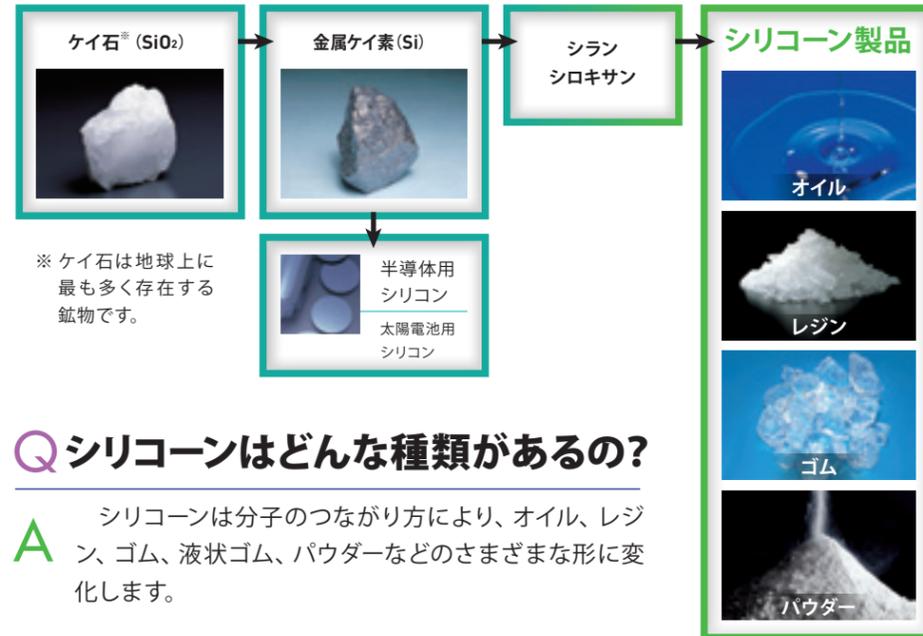
半導体や太陽電池に使われるシリコン (Silicon) とシリコーン (Silicone) は別の物です。シリコンは元素のひとつであるケイ素 (Si) のことです。それに対して、シリコーン (Silicone) はケイ素をもとにつくり出された化合物です。

シリコーンの構造は？



Q シリコーンは何からつくられているの？

A シリコーンの主原料は、ケイ素と酸素が結びついた「ケイ石」を電気炉で還元してできる金属ケイ素です。この金属ケイ素に、複雑な化学反応を加えてつくられる合成樹脂がシリコーンです。



Q シリコーンはどんな種類があるの？

A シリコーンは分子のつながり方により、オイル、レジン、ゴム、液状ゴム、パウダーなどのさまざまな形に変化します。

Q シリコーンの特長は？

A シリコーンの基本骨格は、ケイ素 (Si) と酸素 (O) が結びついたシロキサン結合 (Si-O-Si)^{※1} でできています。その基本骨格に有機基^{※2} が結びつき、らせん構造を形成します。なおシリコーンは、基本骨格と結合する有機基の種類により、多彩な特性を付与することができます。

シロキサン結合による特長	有機基の種類で付与できる特長
<ul style="list-style-type: none"> ・熱に強い ・変質や劣化を起こしにくい ・酸やアルカリに強い ・電気を通しにくい 	<ul style="list-style-type: none"> ・水をはじく ・はがれやすい ・寒さに強い ・泡を消す ・気体を通しやすい など

暮らしの中の「シリコーン」

シリコーンは、家電、自動車、化粧品、キッチン用品、住宅など、私たちの生活の中のさまざまな製品に使われ、豊かな暮らしを支えています。



※ イラストの中で色が塗られている製品にシリコーンが使われています。

建築・住宅	化粧品・生活用品	電気・電子	自動車
LED電球	キッチン目地シール	液晶テレビ	エンジンまわりの部品
化粧用品	調理器具	ゲーム機	エアバッグ
外装材	太陽電池	パソコン	ワイパー
育児用品 (哺乳瓶の乳首)	柔軟剤	スマートフォン用保護ケース	カーワックス

その他の用途 (例)
 ・ドライクリーニング ・コンタクトレンズ ・ソファ ・ヘアブラシ ・トイレの蓋の開閉部 ・フライパンの耐熱塗料
 ・シャンプー、リンス ・リモコンキーパッド ・電子ジャー、ポット、レンジ ・冷蔵庫 ・コピー機 ・消火器
 ・クリーンルーム ・排水処理 (消泡剤) ・ガラスの撥水剤 ・送電設備 など

シイエツの「シリコーン」

高い技術力で、5,000種を超える製品を開発

信越グループは、重合技術や配合技術などの高い技術開発力により、さらに高度な機能を持つシリコーン製品を生み出し続け、現在では5,000種を超える製品を取りそろえています。シリコーンは、電気・電子、自動車、建築、化粧品、化学、食品など、幅広い産業分野に使われるため、ある特定の産業の景気の落ち込みを他の産業で補うことができ、安定した収益を生み出す製品です。シリコーンの事業化から60年を迎えた今もなお、新しい製品が開発されています。2012年度の国内外のシリコーンに関わる特許出願件数は、グループ全体の約4分の1を占める350件で、付加価値の高い製品が売り上げと利益の両面で寄与し、高い利益率を達成しています。

利益率の高いシリコーン事業 (2012年度)

売上高	営業利益
1,290億円	286億円
売上高営業利益率	7.1%
22%	※ 出典：財務省 法人企業統計調査

「シリコーン」のミライ

暮らしを進化させる、シリコーンの限りない可能性

シリコーンは分子設計の自由度が高い素材です。本来の特性に新たな機能を加えたり、他の素材の特性と組み合わせることでさらに高度な機能を持たせることもできます。活躍の場はさまざまな分野に広がっています。シリコーンの進化によって、高性能のコンタクトレンズや燃費向上に効果を発揮する自動車のタイヤなどが生まれ、私たちの快適な暮らしに役立っています。

高性能コンタクトレンズ

気体を通しやすい性質を持つシリコーンをコンタクトレンズの素材として使うことで、従来よりも多くの酸素を瞳に届けることができます。そのため瞳にやさしく、長時間の連続着用でも安心して使える素材として需要が伸びています。

省燃費タイヤ

環境に配慮したタイヤとして省燃費タイヤ (エコタイヤ) への関心が高まっています。従来、燃費性能を上げるためにタイヤの転がり抵抗 (走行抵抗) の低減を図ろうとすると、グリップや摩耗耐性といった基本性能が犠牲になると考えられてきました。しかし、シリコーンをタイヤの改質剤として使うことで、基本性能を下げることなく転がり抵抗が抑えられ、燃費の改善に役立っています。

会社概要 (2013年9月30日現在)

商号：信越化学工業株式会社
 設立：1926年9月16日
 資本金：119,419,688,785円
 本社：〒100-0004
 東京都千代田区大手町
 二丁目6番1号
 電話：03(3246)5091
 URL：http://www.shinetsu.co.jp/
 従業員数：17,841名(連結)

役員 (2013年9月30日現在)

代表取締役会長	金川 千尋	取締役	フランク・ピーター・ポポフ ^{*1}	常勤監査役	岡田 理
代表取締役社長	森 俊三		金子 昌資 ^{*1}	監査役	渡瀬 昌彦
代表取締役副社長	秋谷 文男		宮崎 毅 ^{*1}		福井 琢 ^{*2}
	斉藤 恭彦		福井 俊彦 ^{*1}		小坂 義人 ^{*2}
専務取締役	石原 俊信		小宮山 宏 ^{*1}		永野 紀吉 ^{*2}
常務取締役	幅田 紀一		宮島 正紀		
	高杉 晃司		笠原 俊幸		
	轟 正彦		小根澤 英徳		
	秋本 俊哉		中村 健		
	荒井 文男		岡本 博明		
	松井 幸博		上野 進		
			丸山 和政		

^{*1} 社外取締役
^{*2} 社外監査役

株式の状況 (2013年9月30日現在)

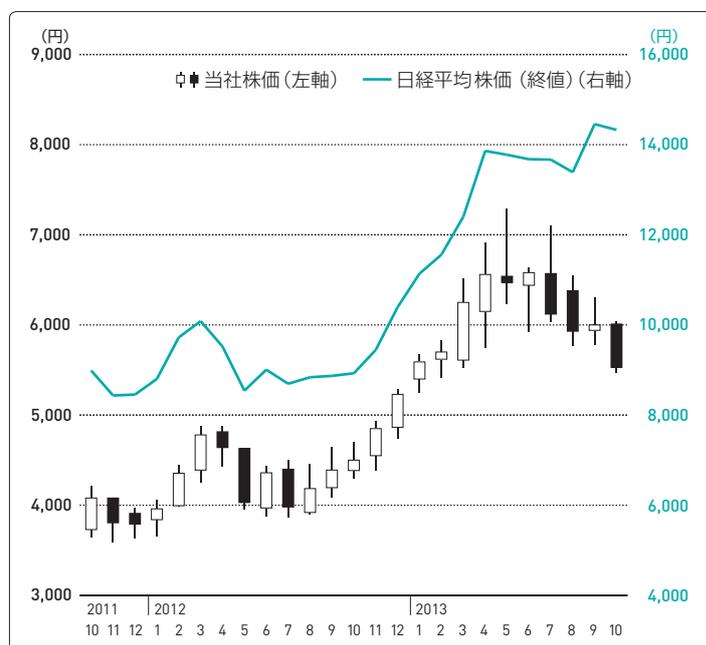
発行する株式の総数：1,720,000,000株
 発行済株式総数：432,106,693株
 (注)自己株式6,908,060株が含まれております。
 株主の総数：61,302名

大株主 (千株未満は切捨表示)

株主名	持株数 (千株)	出資比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	37,197	8.7
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	29,240	6.9
日本生命保険相互会社	23,911	5.6
株式会社八十二銀行	11,790	2.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	11,124	2.6
明治安田生命保険相互会社	10,687	2.5
ステートストリートバンクアンドトラストカンパニー505225	6,125	1.4
ザチェースマンハッタンバンクエヌエイロンドンエスエル オムニバスアカウント	5,936	1.4
ザバンクオブニューヨーク-ジャスディックトリティーアカウント	5,671	1.3
ザバンクオブニューヨークトリティー ジャスディックアカウント	5,227	1.2

(注) 当社は、自己株式6,908,060株を保有しておりますが、上記の大株主からは除いております。また、出資比率は自己株式を控除して計算しております。

株価の推移



株主メモ

事業年度：4月1日～翌年3月31日
 期末配当受領株主確定日：3月31日
 中間配当受領株主確定日：9月30日
 定時株主総会：毎年6月
 公告掲載方法：電子公告により、当社ホームページに掲載いたします。
 (http://www.shinetsu.co.jp/)
 ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

単元株式数：100株
 上場証券取引所：東京・名古屋
 株主名簿管理人：三菱UFJ信託銀行株式会社
 特別口座の管理機関
 同連絡先：〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-711 (通話料無料)

株式に関する手続きについて

お手続き、ご照会の内容	お問い合わせ先
証券会社等の口座に記録された株式	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	
上記以外のお手続き、ご照会など	口座を開設されている証券会社等 にお問い合わせください
特別口座に記録された株式	
特別口座から一般口座への振替請求	三菱UFJ信託銀行 証券代行部 電話 0120-232-711 (通話料無料)
単元未満株式の買取・買増請求	
住所、氏名などの変更	
特別口座の残高照会	
配当金の受領方法の指定	
郵送物などの発送と返戻に関するご照会	
払渡し期間経過後の配当金に関するご照会	
株式事務に関する一般的なお問い合わせ	